



全国学力・学習状況調査結果について

6年生を対象に、4月17日（木）に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。また、4月に実施した調査ですので、現在の状況とは異なる場合があります。

1 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査 [国語・算数・理科] それぞれ45分

(2) 学習状況に関する調査（児童質問紙）

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

2. 本校の調査結果について

(1) 学力に関する調査結果

算数・国語は、全国平均を少し下回る正答率、理科は、全国平均を少し上回る正答率で、ほぼ全国平均並の結果でした。

算数においては、「図形」領域が他の領域に比べ少し弱いようです。今後はすべての領域について基礎基本を身につけながら、思考力を高めていくことが必要です。国語においては、「読むこと」特に「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」に課題が見られました。「語彙力の乏しさ」も課題です。理科においては、一定の知識の定着が見られます。

記述式の問題では、なかなか回答できない子もいましたが、みんな、わからない問題もねばり強く考え、最後まであきらめず取り組んでいました。正解か不正解かということ以上に、この姿勢こそが、これから子どもたちが伸びていくために大切な力となります。

現在、神津小の子どもたちに培おうとしているねばり強さやチャレンジする気持ちなどを育てていくことが、学力を高め、「たくましく しなやかに」生きていく力を身につけていくことに必ずつながってきます。

(2) 学習状況に関する調査結果

○「自分には、よいところがある」という質問では、85.3%が肯定的な回答をしています。全国平均は86.9%でした。神津小のすべての子どもたちが自分のよさを認められるよう、さらに取り組んでいきたいと思えます。

○「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問では、昨年度同様、全員が肯定的な回答をしていました。自分とともに、他者も大切にすることをうれしく思います。

○「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」という質問では、肯定的な回答は50.0%と全国平均（80.3%）を大きく下回っていました。学ぶ意欲に課題があり、やらされてやっているという子どもが多いと考えます。これは授業をする側にとっても、子どもが意欲的に学べる授業づくりが大切だと考えています。

○「寝る時間や起きる時間等の睡眠」に関する項目に課題がありました。小学生に必要な睡眠時間は9～12時間と言われていて、身体や脳の成長に大きく影響します。スマホやゲームのやり過ぎ、動画の見過ぎ等で寝る時間が遅くならないように、お子様と一緒に振り返り、必要があれば見直していただければと思います。

現在、調査結果を分析し、今後の具体的な取り組み等について検討しています。後日、改めて学校だよりで報告します。